

GREETING ごあいさつ

平素は、森本たかしNewsをご愛読頂き、ありがとうございます。

2018年9月議会一般質問から、小中学校のICT教育の環境整備を訴え、コロナ禍の2020年度から、近隣自治体に先行して小中学校にタブレットが導入されました。同時に、コロナ禍の中、オンライン授業もスタートしました。

また、2023年6月議会の会派代表質問で、タブレットを使って高校受験に対応した補助学習を導入してすべての家庭の補助学習費(学習塾代)を軽減すべきと提案しました。

2024年度から、市はAIドリルを導入し、高校入試対策を中学生がタブレットで自習できる教育環境を整備して、自宅で補習授業を受けられる仕組みを構築しています。

今後も、小中学校のICT教育が推進・活用されるように、取り組んでいきます。

新風コスモスの会 **森本 隆**



中学校自転車通学を考える

市民の方からのご相談により、自転車通学運用基準の現状と課題について分析しました。

現状認識

- ① 中学校の自転車通学運用基準は学校毎に規則にて決められている。
- ② 市内5中学校の内、木津南中学校以外は、自転車通学可となっている。
- ③ 自転車通学許可基準は、各中学校にて異なるが、自宅～中学校の距離が、約2km以上となっている。
- ④ 通学時間の考え方は、1時間以内。(合理的な交通手段等を検討すること)

現状課題

- ① 地球温暖化の影響で、通学時の熱中症リスクが高くなっている。
- ② 城山台地区等、木津中学校から木津南中学校への校区変更等があり、学校毎の違いが表面化している。
- ③ タブレット機材(約1.5kg:付属品込)を持ち帰る機会も多くなり、生徒の通学カバンが重くなっている。中学生の通学カバン平均6～7kg、最大14kgという生徒もいる。
- ④ 不審者対策として、自転車通学を希望する保護者も多い。

市への提案

- ① 生徒を取り巻く環境が変わったことを認識して、自転車通学運用基準を見直すべき。
 - ・地球温暖化による通学時の熱中症対策。
 - ・タブレット等(約1.5kg)を持ち歩く時代に合わせる。
- ② 自転車通学運用基準を1.5km以上の距離に緩和し、生徒・保護者に通学手段の選択権を与えるべき。

木津第二中学校区 通学距離

(地図アプリによる独自調査) ● 自転車通学OK ● 徒歩通学

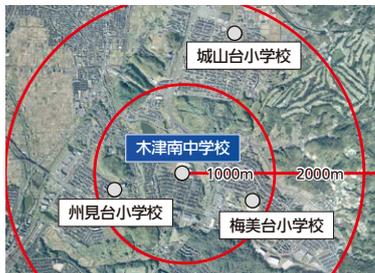
- 木津第二中学校～木津川台ローレルスクエア **2.1km**
- 木津第二中学校～木津川台1丁目 **3.2km**
- 木津第二中学校～相楽台7丁目 **2.0km**



木津南中学校区 通学距離

(地図アプリによる独自調査) ● 徒歩通学

- 木津南中学校～梅美台6丁目 **2.3km**
- 木津南中学校～州見台8丁目 **2.0km**
- 木津南中学校～城山台11丁目 **2.3km**



6月議会での質問 (一般質問)

質問 1 中学校自転車通学の運用基準は適切か

Q 森本隆 中学校の通学時間に関する考えは。

A 教育部理事 文部科学省は、学校規模適正化適正配置において、通学条件を従来の通学距離の基準に加え、遠距離通学のデメリットを解消するため、おおむね1時間以内を目安に市町村が判断することとしている。

Q 森本隆 現在の市内各中学校の自転車通学に対する考え方と実際の運用基準は。

A 教育部理事 市立5中学校のうち4中学校は、学校からの距離や地域の道路状況を考慮し、自転車通学が可能な地域を定めている。

Q 森本隆 木津、木津第二、木津南、3中学校の自転車通学の許可範囲を決めた運用基準について、どのような形で決まっているか。

A 教育部理事 各中学校は、自転車通学を許可する地域を決定する際に、距離だけでなく、道路や交通状況、地域の特性、生徒数などを考慮して独自の基準を設けて運用している。

Q 森本隆 城山台地区と木津南地区では校区変更があり、自転車通学のニーズも高いため、早急に現在の自転車通学の運用基準を見直すべきだと考えるが、市の考えは。

A 教育部理事 木津南中学校は全校区を徒歩通学としており、生徒の安全確保のため安全措置を取っている。城山台9丁目から13丁目を学区に追加した際も徒歩通学を継続。学校での安全指導や道路整備を行っている。

Q 森本隆 6〜7キロの重いリュックを背負い40分かけて通学することが良いのか疑問だ。ICT教育の普及によりタブレットでの自宅学習が増え、持ち帰る機会も増えることから、規制緩和を求める声もある。保護者の中には不審者対策として自転車通学を支

持する者もいるが。

A 教育長 通学路の安全確保が重要であり、自転車通学についても学校と保護者が協議し、安全な方法を確保している。木津南中学校では徒歩通学を実施し、城山台でも同様に安全を最優先に徒歩通学を決定した。

Q 森本隆 全国的に自転車通学の基準は異なり、埼玉県入間市や広島県尾道市では1.5キロメートル以上の距離から認められている。環境の変化により、熱中症リスクが増加している。また、市ではICT教育を活用し、高校受験に対応できる仕組みを構築しており、タブレットを活用して進学の可能性を広げている。タブレット等の重さ(約1.5キロ)から持ち帰る習慣が減少しないように自転車通学を認めるべきだ。

A 教育長 通学方法は安全と時間を考慮して決定されており、将来通学区域が広がる場合は、より大きな視点で見直す必要がある。

Q 森本隆 城山台小学校の児童数が急増した際に「特定地域学校選択制」を導入したように、自転車通学の問題も、生徒と保護者を選択権を与えるべきである。ぜひ生徒の実態と保護者の意見を正確に把握し、運用基準を見直すことを要望する。

A 教育長 引き続き、子供たちの安全確保、通学路の確保に努める。

質問 2 地球温暖化対策の具体策を問う

Q 森本隆 脱炭素の取組の具体策の中で、「太陽光発電」に関する市の取組は。

A 市民環境部長 府と共同で太陽光発電と蓄電設備を同時に設置する世帯に最大14万円の補助金を支給している。

Q 森本隆 市の公共施設の一部では太陽光発電が設置されているが、エネルギー価格の高騰と脱炭素対策を兼ねて、増設する計画は。

A 市民環境部長 公共施設に太陽光発電設備を導入するための条件整理を進める予定。

Q 森本隆 太陽光発電実績(図1)(市内一

戸建て)からも分かるように市独自で電気の分散化を進め、各住宅で電気の地産地消を実現することが経済的にも成り立ち、脱炭素にも寄与することになる。太陽光や蓄電池のみでも補助対象にするなど、幅を広げる可能性はないのか。

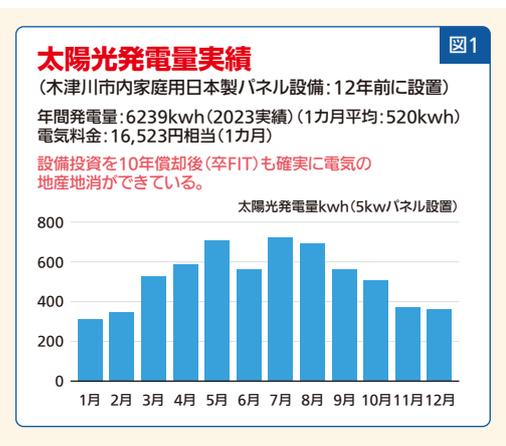
A 市民環境部長 全国的には省エネ家電への補助制度が充実しており、それを参考にしたい。

Q 森本隆 電気を多く使用する上下水道施設や給食センターなどの大規模な公共施設に太陽光パネルを設置することで、エネルギーの地産地消が可能となり、電力供給が改善されると考えるが、具体的な計画は。

A 上下水道部長 現在建設中の山城の浄水場に関して導入を検討したが、投資効果は少ない。

Q 森本隆 市長が考える特徴的なテーマは。

A 谷口市長 庁舎の窓ガラスにフィルムを貼る、電気自動車を導入、社会教育施設にLEDを進めるなどの取組を行う。また小学生を対象に「テコ活」ハンドブックの配布計画もある。循環型社会推進基金を利用して、ごみの減量から地球温暖化対策まで幅広い取組を行う方針。



森本隆 [もりもと たかし] プロフィール
無所属 新風コスモスの会所属
1959年 大阪府生まれ/1997年から兜台7丁目在住
大阪府立茨木高等学校卒業/京都工芸繊維大学 機械工学科卒業
元パナソニック(株)社員 [勤続32年・2015年退職]/木津川市議会議員(2015年~)
議会役歴 市議会議員(2021年~2023年)/議会運営委員会 委員長(2019年~2021年)
主な活動履歴 ●兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)
●東日本大震災「はじめの一歩コンサート」を主催(2011年から5回実施:於 高の原)
[家族] 妻と一男一女 [趣味] 写真撮影、旅行、ゴルフ
HP開設中
https://takashi-supportclub.net/
morimoto077473@clock.ocn.ne.jp

編集後記
相楽中部消防組合新庁舎建設工事、予定通り、造成工事が進んでいます。2025年10月末、城山台に竣工予定です。大規模災害の拠点、自主防災組織の研修施設としての活用が望まれます。
(Images of construction site and a person at the site)